



ねばり強い議会提案と署名運動(新日本婦人の会など)が実を結ぶ

ついに実現へ

市長答弁で一気に具体化へ——答弁要旨——

○「桜島の爆発噴火回数は観測史上最多を記録更新中。降灰で様々な影響が。特に学校では窓を閉め切つての授業に児童生徒が集中できない。良好な環境を維持できていない。」

○クーラー設置費用は試算額約47億円(国への要望額)

○小・中・高校(玉竜高校は同窓会で設置済み)のすべての普通教室(1803教室)を対象とする。

○降灰の影響が大きいと思われる学校から着手。

○8月末、国に補助要望しており、事業着手が認められれば早急に計画を固め、事業費や計画期間を定め、すみやかに事業着手する。

小・中・高校 1803普通教室のクーラー設置

クーラー設置への“道のり” (平山たかし市議の質問より)

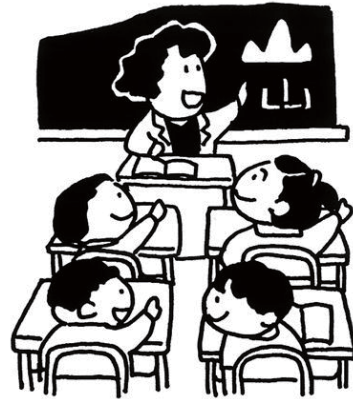
- 「プレハブ校舎が各学校に存在している。児童クラブにもクーラーなし。降灰の激しい日、“ムシブロ状態”を体験していただきたい。」と要請し、解決へ前進。(平成3年3月議会)
- その後、音楽室やパソコン教室など特別教室等へのクーラー設置。
- 桜島の爆発対策の中で、党国会議員団(仁比前参議院議員を含む)も補助採択を要求。
- 新学期前の8月24日、党市議団、党地区委員会が(猛暑の今年の夏、部屋の中でも熱中症が心配。クーラーなしでは夜も眠れない。クーラー設置のない学校の普通教室。降灰で窓も開けられない。桜島の“降灰は災害”。学校での緊急対策と「来年度には普通教室へのクーラー設置の実現を」緊急対策を申入れ。(しんぶん「赤旗」8月26日付報道)新日本婦人の会は9月17日、数日間で500人近くの第一次署名を森市長に提出。

平山たかし要求

クーラー設置の発注は昨年の「地デジ対応等」(24億円すべてを市内業者へ発注：全国初)の教訓を生かすべき

森市長の答弁

地元業者に優先、そのうえに地域経済の活性化につなげていきたい



発注は地元業者優先に

これからの課題

整備計画策定を急ぎ、早い段階の予算措置で準備作業をすすめ、早期発注で来年夏に間に合うように。

さらに運動をもりあげましょう

共産党市議団提案

日本共産党
鹿児島市議団
ニュース
2010年10月1日
No.106
発行/日本共産党
鹿児島市議団
鹿児島市山下町11-1
TEL: 216-1440
FAX: 225-5607